

■第70回セメント技術大会／優秀講演者17名を表彰

セメント協会は、第70回セメント技術大会(2016年5月10～12日)で優秀な講演を行った17名の講演者を表彰した。

2002年から行っている本表彰は、大会全体の活性化と若手研究者・技術者(35歳以下)の研究奨励を目的としており、①講演要旨のわかりやすさ、②プレゼン資料の表現、③発表の方法、④発表時間の配分の適切さ、⑤発表時間、⑥質問に対する回答の的確さ、⑦発表態度、⑧研究内容のレベル、について審査を行い、特に優秀と認められた講演者に対し授与している。今年度は、選考対象110名のうち、下表に示す17名を優秀講演者とし、表彰状と記念品を授与した。

第70回セメント技術大会 優秀講演者

講演番号	講演者(敬称略)	所属	講演題目
1101	川上博行	花王㈱	有機化合物のカルシウム／珪酸錯体形成能がC ₃ Sの水和反応に及ぼす影響
1218	原 啓史	デンカ㈱	モルタルの長さ変化率におよぼすカルシウムアルミネート骨材の影響とその機構
1311	土肥浩大	三菱マテリアル㈱	フライアッシュのメチレンブルー吸着量に及ぼす明度の影響
1316	橋本勝文	北海道大学	表面改質による高炉スラグ細骨材の物理化学特性と高強度モルタルの初期性状
2101	白濱暢彦	三菱マテリアル㈱	高温X線回折を用いたクリンカー原料の焼成反応性評価の検討
2108	吉田 亮	名古屋工業大学	セメントペースト硬化体における漸次繰返し法を用いた水銀圧入・水蒸気吸脱着履歴に関する一考察
2204	大野拓也	太平洋セメント㈱	収縮低減剤を用いたコンクリートの収縮・クリープ特性に関する検討
2208	小川浩太	名古屋大学	Strength change in concrete exposed to high temperature in sealed condition
2305	齋藤 尚	住友大阪セメント㈱	製造時期および剥離剤の種類がPCa製品の明度に及ぼす影響
2308	中村弘典	(一社)セメント協会	セメント系固化材を用いた不溶化処理土の安定性に関する一考察 -材齢の経過およびpHの変化による影響-
3104	井口 舞	太平洋セメント㈱	早期交通開放型コンクリート舗装の基本特性に関する検討
3108	加藤祐哉	(国研)土木研究所	粗骨材の異なる舗装コンクリートのスケーリングに関する検討
3116	中 新弥	立命館大学	RI計器を用いたポーラスコンクリートの空隙率評価に関する研究
3210	染谷 望	東京理科大学	コンクリート中の鋼材界面の環境が鋼材腐食の進行に与える影響
3216	伊藤孝文	芝浦工業大学	CA系材料を用いたコンクリートの塩分浸透抵抗性の検討
3218	本名英理香	芝浦工業大学	材料及び環境要因がコンクリート構造物の炭酸化進行に与える影響
3316	栗山友之	新潟大学	CaO-MgO-SiO ₂ 系材料を大量使用し、オートクレープ養生を施したセメント系硬化体の耐硫酸塩性評価

■新常務理事に藤原氏／セ協

7月1日、セメント協会の常務理事に藤原 要(ふじわら かなめ)氏が就任した。

藤原新常務理事は、1959(昭和34)年生まれ。

1982(昭和57)年大阪大学工学部土木工学科卒業、84(昭和59)年同大学大学院工学研究科土木工学専攻修了後、建設省に採用、中国地方建設局福山工事事務所調査設計課に着任。以後、1991年科学技術庁科学技術政策局計画課専門職、



93年同計画課長補佐、94年(財)国土開発技術研究センター研究第二部参事、97年建設省四国地方建設局大洲工事事務所長、2000年大臣官房監察官、02年国土交通省中部地方整備局企画部環境審査官、04年関東地方整備局企画部環境調整官、05年九州地方整備局宮崎河川国道事務所長、07年国土技術政策総合研究所総合技術政策研究センター建設マネジメント研究官、08年(社)日本建設機械化協会技師長、09年(独)日本高速道路保有・債務返済機構関西業務部審議役、11年同関西業務部部長、13年危険物保安技術協会土木審査部長を務め16年3月に退官、現在に至る。